



白馬童子

糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第11号

令和8年3月19日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

「ありがとう」は、幸せな明日のために

校長 富永 浩文

灰色の雲に覆われていた重い空が、少しずつ高く、そして広く感じられるようになりました。白い雲がゆっくりと流れ、その向こうの空の青さが鮮やかに目に映ります。季節はめぐり、旅立ちの春を迎えました。

晴れた朝、私は空を見上げて、「大空を 静かに 白き 雲はゆく 静かにわれも 生きゆくありけり」(相馬御風)と口ずさみ、通り過ぎる雲を見つめました。子どもたちの登校を待ちながら立っていると、一人の女性が「先生いつもありがとうございます。」と声をかけてくださいました。「ドキッ」としましたが、その一言が私の心を温め、その日一日のやる気を高めてくれました。

この時期、学校は感謝の言葉や態度であふれます。6年生を送る会、保護者の皆さんへの感謝の会、委員会や通学団の引き継ぎ式、学習でお世話になった方をお招きする会等、これまで導いてくれた人に「ありがとう」という感謝の気持ちを表す場面がたくさんあります。心のこもった「ありがとう」という言葉は、相手の心を温めます。感激して思わず涙を浮かべる人もいます。一方、「ありがとう」という言葉は、それを発した自分の心も温めてくれます。お互いにこの言葉が幸せな明日への架け橋となるのだと思います。私も直接言葉で、あるいはお手紙で、感謝の言葉を子どもたちからいただき、体中が幸せな気持ちで満たされることが度々あります。そして、「こちらこそありがとう」と返します。思えば、「ありがとう」という言葉で救われたことがずいぶんあります。

今日は終業式でした。私は、子どもたちに「1年間、糸魚川小学校を幸せな学校にするために協力してくれてありがとう」と感謝の気持ちを述べました。そして、それぞれがよりよい自分、よりよい学級、学年のために、がんばったことにも感謝の気持ちを述べました。そして、友達同士、先生方と、感謝の気持ちを込めて、ありがとうの言葉を言い合おうと語りかけました。今言わないと一生後悔するかもしれない、だから恥ずかしがらずに言おうと語りかけました。

3連休を挟んで23日(月)はいよいよ79回卒業式です。6年生の門出に際して「ありがとう」という言葉の交換が、学校のあちらこちらで行われ、学校は幸せに包まれることでしょう。私も6年生に、「おめでとう、ありがとう」と声を掛けたいと思います。

『ありがとう』 言葉が照らす 君の道 そっと背中を 押す春の風』

保護者の皆様、地域の皆様、今年度1年間、学校の教育活動にご理解いただき、また、子どもたちを温かく見守りいただき、本当に「ありがとうございました」。



心をこめて 5年生感謝の会